

博物館・美術館セミナー 開催予定一覧（令和8年度 後半期）

佐賀県立博物館・佐賀県立美術館の学芸員が、各分野の知見を活かして、郷土の歴史や文化、館蔵資料などについて分かりやすくお話しするセミナーです。全て聴講は無料です。どうぞお気軽にご参加ください。（各講座により日程、時間、会場が異なります。御注意ください。）

回	開催日	講師	題目・内容	場所
1	9月2日（水） 13:30～15:00	野中耕介	えがいて、まねぶー「模写」の世界ー あのゴッホも描いて「まねんだ」＝学んだひとりでした。過去の名作を真似て描き、その技術や感性を学び取る「模写」は、かつては最も効果的な絵画の学習方法として親しまれていました。しかし時代が移るにつれ、「模写」はその意味と価値を変えていきました。本講座では主に日本近代美術の作例を見ながら、「模写」の奥深い世界に触れてみたいと思います。	美術館2階 画廊
2	9月5日（土） 13:30～15:00	奥田恭介	水生昆虫の王様、タガメの生物学 2026年4月、佐賀県ではじめてタガメの「生息」が確認されました。タガメとはいったいどんな昆虫なのでしょうか。また、なぜ現在絶滅の危機にあるのでしょうか。近年続々と明らかになっているタガメの驚くべき生態をわかりやすく解説し、さらに現在、学芸員らが行っている保全のための取り組みについてもご紹介します。	美術館2階 画廊
3	10月24日（土） 13:30～15:00	谷頭 舞姫	佐賀藩と肥前刀 肥前刀は江戸時代を通して活躍をした肥前忠吉一門により製作された刀剣であり、藩政期のみならず現代に至るまで高い評価を受けています。藩士の日用品として使用されたほか、藩からの贈答用や参勤交代にも持参されました。本講座では、佐賀藩と肥前刀について、県立博物館の収蔵資料の紹介を交えお話しします。	佐賀城本丸歴史館 外御書院
4	令和9年 2月21日（日） 10:30～12:00	秋山沙也子	岡田三郎助、台湾に行く 大正8（1919）年、洋画家の岡田三郎助は台湾総督府新庁舎の壁画制作のために、台湾の土を踏みました。日本統治下の台湾において、画家の目は何を見つめ、その後の台湾美術にどのような影響をもたらしたのでしょうか。本講座では、岡田と台湾の関係を通して、近代アジア美術史の視点から岡田の立ち位置を見つめなおすとともに、近代佐賀と台湾の知られざる関係についてもご紹介します。	美術館2階 画廊
5	令和9年 2月21日（日） 13:30～15:00	村上 達郎	佐賀の印象化石 化石になった古生物の本体が残らず、その生き物の凹凸の跡などが残ったものを「印象化石」と呼ばれます。佐賀県内においても発見されています。本セミナーでは、印象化石とはどんなものか、佐賀で発見されている印象化石を紹介します。	美術館2階 画廊
6	令和9年 3月20日（土） 10:30～12:00	安東慶子	佐賀の日本画家ー幕末から近代までー 近代、佐賀出身の多くの日本画家が活躍していたことが全国的に行われた『内国絵画共進会』等の出品録で記されています。しかし特定の作家を除き、所在の分かっている作品が少なく、幕末動乱の中、その多くの作品が失われた可能性があり、未だ全貌を知ることができません。本セミナーでは、幕末から近代にかけてどのような佐賀の絵師がいたのか。また、その動向を一部現存している作品や記録からご紹介します。	美術館2階 画廊
7	令和9年 3月20日（土） 13:30～15:00	松本 尚之	古文書を読んでみよう！古文書に捺された印章 編 古歴代佐賀藩主など、佐賀の先人たちはいったいどんな印章を使用したのか。 古文書に捺された様々な印章について御紹介します。 ※テーマ展「印章の印象」関連イベント	美術館2階 画廊
8	令和9年 3月21日（日祝） 13:30～15:00	陣内裕美	学芸員とつくる植物標本ー未来へ残す植物資料づくりー 博物館の植物標本は、植物の名前を調べるだけでなく、地域の自然や環境の変化を未来へ伝える大切な資料です。 本講座では、学芸員が植物標本の役割や作製方法を解説したあと、実際に標本の台紙貼り作業を体験していただきます。 「見る」だけではなく、博物館資料づくりに参加できる特別な体験です。 ※定員30名です。	美術館2階 画廊

■参加：事前申込み不要（参加無料）。

■定員：各講座 定員50名 （※ただし3月21日（日）「学芸員とつくる植物標本ー未来へ残す植物資料づくりー」は定員30名）

■受付：当日開始30分前から会場にて行います。

◆問い合わせ先 佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 学芸課 セミナー係(担当：野中) 電話：0952-24-3947 E-mail:hakubi@pref.saga.lg.jp

※日程は都合により変更になる場合があります。変更の場合は館Webサイト（<https://saga-museum.jp/museum/>）にてお知らせいたします。